

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中小企業借入資金利子補給事業	所管	市民経済部 商工労政課
			TEL 2998-9155

事業の目的 (何の為に 行うか)	市融資制度を利用する中小企業者に対し、資金返済に要する利子の一部を補助することで、事業経営の安定を図るとともに、他の制度と差別化することで市融資制度の利用促進を図ることを目的としている。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市の中小企業融資制度利用者	対象とした数	415	件
		実際に 利用した数	272	件

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・市融資制度を利用する中小企業者に対し、融資の返済に要した年間利子額の30%を基準とし、予算の範囲内において補助するものである。 ・毎年1月の広報紙に掲載するとともに、すべての制度利用者に郵送により申請書を送付し、制度の活用を促している。 ・利用者は、金融機関から利子支払の証明書の発行を受け、申請書に添付する。 ・申請内容を審査し、適正と認められた案件について、補助金を交付する。 							
活動実績	項目名	利子補給金利用者数	272	項目名	中小企業融資制度利用者数	58	項目名		単位
		単位	件			単位	件		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	7,395	5,326	8,802	26.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	補助金利用率	利用者/対象者 * 100%	90	65.5	72.8
			単位	単位	単位
			%	%	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり 増額 * 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり 増額 減額 終了						

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	031100	TEL	2998-9155
事業コード	中小企業借入資金利子補給事業	担当	市民経済部 商工労政課			
031109		グループ	金融担当			
開始年度	昭和 48 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市中小企業借入資金利子補給金交付要綱							
	関連・類似事業	中小企業融資あつ旋事業・中小企業協同組合利子補給事業							
	総合計画の体系	政策	第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	2節 商業	中柱	2 経営基盤の強化	小柱	(3) 融資制度の充実
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 20 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○ 行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード _____ コード _____									
事業開始の背景	資金繰りの厳しい中小企業者に対する融資制度の施行に伴い、借入者の利子負担軽減を図ることにより、制度の活用を促すとともに、事業経営の安定に寄与することを旨として導入されたものである。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	市融資制度を利用する中小企業者に対し、資金返済に要する利子の一部を補助することで、事業経営の安定を図るとともに、他の制度と差別化することで市融資制度の利用促進を図ることを目的としている。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市の中企業融資制度利用者				利用数の考え方 利子補給金を交付した個人事業者及び法人				
	対象数	単位	平成 18 年度	437	件	利用数	単位	平成 18 年度	282	件
			平成 19 年度	415	件			平成 19 年度	272	件
事業の具体的な内容及び実施方法 ・市融資制度を利用する中小企業者に対し、融資の返済に要した年間利子額の30%を基準とし、予算の範囲内において補助するものである。 ・毎年1月の広報紙に掲載するとともに、すべての制度利用者に郵送により申請書を送付し、制度の活用を促している。 ・利用者は、金融機関から利子支払の証明書の発行を受け、申請書に添付する。 ・申請内容を審査し、適正と認められた案件について、補助金を交付する。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	<< 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
平成19年度中に改善した点 要綱を改正し、算出額に100円未満の端数があるときは端数を切り捨てることとし、制度の簡素化を図った。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		8,448	7,395	8,249	
	決 算 (見込み含む)		5,595	5,326		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(0.15 人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.36 人	3,312	0.37 人	3,476
	公債費					
	事業費合計		8,907	8,802		
	財源内訳	一般財源	8,907	7,395	8,249	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			26.4	26.0		
利用数一単位あたり(単位:円)			31,585.1	32,359.5		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	利子補給金利用者数	制度を利用した中小企業者数	件	282	272		
		中小企業融資制度利用者数	市の中小企業融資制度を利用した中小企業数	件	64	58		
	成果分析	補助金利用率	利用者/対象者 * 100%	%	目標値	90	90	
実績					64.5	65.5	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
				達成率	71.7	72.8		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	利用率が70%を割っている状況であり、より周知を図る必要がある。				
⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	制度利用者の拡大を図る	対象者の70%以上が当制度を利用するように周知を図る	平成20年度	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	当制度は、市融資制度を利用する際の、中小企業者にとってのメリットとなっており、利子補給されることを前提に利用した事業者も多いと考えられることから、今後とも事業を継続していくものである。 予算措置については、制度の利用者が逡巡していることから、若干の減額は可能であると見込んでいる。				
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	商工労政課長 尾村俊和		

⑧二次評価	一次評価を受けた	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価理由					
⑧二次評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
評価理由	評価理由						
評価日	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				